トでは講演に参加したり、水上下水道関連のPRイベン

インフラ関連の企業にインタ

取り組んでいます。現場で働

りを広く伝えるための活動に 線で活躍する方々の信念や誇

も担っていると自負していま く方々の代弁者としての役割

事体験をしたりと、日々、さーンシップとして実際にお仕

まざまな側面から水インフラ事体騒をしたりと、日々、さ

每週水曜日発行



の1年間、水の広報官として、上下水道 どのような思いでいるのだろうー さんに、水を仕事にすることの魅力、や に携わる仕事の最前線を見つめてきた2 この業界では、どのような人々が働き、 分野への可能性について話を聞いた。 りがい、そして今後広がりを見せていく 020ミス日本「水の天使」の中村真優 日々営みを続ける上下水道インフラ。

◇水の広報官として

じたのが印象的でした。事人としての気概と誇りを感 営し続けているその姿勢に仕

皆さんの生活の身近にある 豊かで清廉な「水」が当たり 水を守る方々の創意工夫があ 中村さんが務めるミス そしてその ニューアルする際には、低騒 街中で老朽化した管路をリ

だと知りました。

麗な水をつくり出

「水インフラ=綺

ざまなものがあるの は地域によってさま

場として整備し市民に開放し 質を高めるための配慮を行っていたりと、私たちの生活の 綺麗にするだけでなく周囲に

を担っています。

トをかぶり管路の中に入ってを運んだり、時にはヘルメッ

現場密着型で最前

る業界であることを発信する って成り立っている魅力溢れ 水の広報官」としての役割 ト水処理場などの施設に足 緑を配置したり、センター 音かつ水の流れを止めずに工 施していたりと職人技に目を 事を進めるための創意工夫を 水再生センターでは、水を

エネルギー化からも水素生成など資源・ 方策だけを見ても堆スとしての有効利用 肥化、発電燃料化、 す」ことだけではな 例えばバイオマ

> **GESUIDO NEWS**

備えていると感じます。 達人集団」という側面も兼ねています。まさに「気配りの

れ合う中で感じたのは、 年間にわたり水の広報官とし て活動してきました。 今年1月末に就任し、約1 水インフラで働く方々と触 これまでの活動を振り

> 中に」と掲げられている通り、 で「安全な水とトイレを世界

◇多様な可能性の宝庫

り高き仕事人集団」という点 24時間休むことなく維持・運 まざまな仕事を通じ365日 私たちが生活を営む上 「水道を、 場については10カ所ましたが、下水処理 中で感じた水インフラの仕事 ほどを視察しまし の可能性は。 の姿を垣間見たり、対話する――実際に現場で働く方々 コロナ禍ではあり

される付加価値など 処理の過程で生み出 た。大まかな処理の は組みは同じにして 使われる技術や



魔法で下水道管が再生!!



2020ミス日本「水の天使」

中村 真優さんに聞く けづくりとして面白いと思いンフラを知ってもらうきっか新たな価値の創造やより水イ ービスとして、これからもさ様な可能性を持つインフラサ ていたりします。 教育などの分野との融合も、仕事の延長線のみならず、 はないでしょうか。 れていく発展性の高い仕事で きにより新たな価値が創造さ まざまな産業分野との結びつ 生活を守る、豊かにする多

◇世界で貢献できる仕事

「あって当たり前」と思わ

決を目指すため、国連が採択 共に2030年までに各種解 での貢献領域については。 した「持続可能な開発目標 先進国・発展途上国双方が るもの」ということの裏返し れがちな存在は、「なくては困 であり、それは日本の生活に

水の広報官とし

(SDGs)」の目標の一つ

考えさせられる出来事だと思

フラの重要性を意識した出来――中村さん自身が水イン 高校時代にドイツへと留学

要性を強く意識しました。験し、その時に上下水道の重 満足に使用できない生活を体 月にわたりお風呂やトイレを がありました。その間約1カンティア活動に従事したこと 難民キャンプでボラ

ラ整備は発展途上国を中心に るものですので、そうした中 これから本格的に取り組まれ では日本で培ってきた製品技 ービスの活躍の場は大

い全国各地で豪雨被害に悩ま

また、昨今は気候変動に伴社会に貢献しています。

うな上下水道整備水準は少な

り組まれる学生の皆さんに一

術やサー

いにあると思います。

「下水道の日」PR動画に出演するなど多角的な広報活動に取り組む すべては、 未来のこどもたちのために。 おいしい水が飲める。家に明かりがつく。大地の恵みを育む。 私たちは水インフラをとおして、美しい地球環境を守り、 人々が安心して暮らせるまちづくりを支えていきます。 環境未来都市を創造する月島機械。

月島機械株式会社 水環境事業本部 事業統括部

TEL 03-5560-6530 FAX 03-3533-4103 www.tsk-g.co.jp

〒104-0053 東京都中央区晴海 3-5-1

TSK 月島機械



② 前澤工業株式会社

〒332-8556 埼玉県川口市仲町5-11 TEL:048-251-5511 FAX:048-251-9375 http://www.maezawa.co.jp

